

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	工業科教育法II		
英文授業科目名	Engineering Education II		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-教育課程及び指導法に関する科目-		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	小林 基宏		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
なし	なし

【主題および達成目標】
<p>高等学校における「工業」の教員免許取得を志す学生を対象とする「教育職員免許法施行規則」の「各教科の指導法」に関する科目です。</p> <p>先の「工業科指導法(1)」で学習した工業教育の意義や目標を十分に踏まえたうえで、それらを具現化するための実践的指導力涵養を目標にしています。教育課程の内容や「工業科指導法(1)」で作成した年間指導計画に基づき、単元別学習計画や学習指導案の作成法を学習します。</p> <p>学習指導案の作成を通じて、生徒の学習意欲の喚起方法や興味深い教材の選定方法、魅力的な授業方法等について演習を実践しつつ具体的に学習を進めていきます。</p> <p>また、教育評価に関しては教育評価本来の機能を確認し、今日の教育評価の現状と課題についての資料調査とディスカッションを実施する予定です。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
<p>教職課程における各教科を履修する過程にあることが前提です。</p>

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
<p>教職課程における各教科を履修する過程にあることが前提です。</p>

【教科書等】
<p>参考書:「新しい観点と実践に基づく工業科教育法の研究」(実教出版)ほか</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

この授業では次のような授業内容に関して、印刷資料、VTR等の視聴覚教材を導入し、学習内容の理解を定着させるための小論文課題を適宜実施しながら分かりやすく学習を進めていきます。

工業技術教育における教育課程の特徴・年間指導計画と単元別授業計画との関連性・座学に関する学習指導案・実験実習に関する学習指導案・教材の選定方法・安全教育・具体的授業展開の事例・授業評価と改善法・教育機器の活用方法・教育のシステム化・進路指導ほか。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法

適宜実施する小論文課題提出の論述内容、遅刻出席等の学習態度等を勘案し、総合的に評価します。

(b)評価基準

学習内容を深く理解し、教職の重要性を認識しつつ、工業科教育に携わる使命感をもって職務を遂行しようとする意欲や心構えができていること。

【オフィスアワー：授業相談】

授業内容の理解促進等のために、授業時間外で学生の質問・相談を、電話などで事前に予約を取った上での面談や書簡、電子メールで応じます。電話番号や宛先、メール・アドレスは授業で案内します。

【学生へのメッセージ】

将来的に「生徒が未知のもの、新しいことに興味・関心を抱くように導くのが教師の使命」ということを十分に理解し、「学習者支援」のための知識・能力・スキル開発などを授業を通じてしっかり考察し理解していけば難しい内容ではありません。

【その他】

とくになし。